

平成25年度

カリキュラム委員会（第3回）議事要旨

日 時： 平成25年 9月20日（金） 15:00～15:45

場 所： 全学教育管理・講義A棟6階 大会議室

出席者： 委員長 箕島（実施調整部長）

委員 江川（機構長）、舟場（文）、青野（人）、河野（言（外））、田中（法）、太田（経・山本代理）、内田（理）、杉山（理）、宮崎（理）、藤本（理）、金岡（理）、廣野（理）、松尾（医）、中島（医・藤堂代理）、下平（基）、木村（言）、渡邊（言）、松本（言）、大谷（国セ）、宮久保（博）、押鐘（サ・阿部代理）、宇野（全教・窪田代理）、森（全教）、小松（全教）、坂東（全教）、岩居（全教）

オブザーバー 梅下（医保）、小磯（理）

欠席者： 竹村（企画開発部長）、岡島（文）、竹中（カレッジ）、野村（人）、北村（法）、松村（経）、吉田（歯）、近藤（薬）、南方（工）、三宅（言）、松繁（国公）、小林（生命（基））、西田（保セ）、清川（サ）

陪席者： 尾崎学生交流推進課長補佐、都々木教務係長、小坂教務係員

議 題：

議事に先立ち委員長から、経済学研究科ならびに基礎工学研究科からの委員に交代があった旨紹介があった。

また、委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料1）の確認があった。

協議事項

1. 平成26年度以降基礎教養科目（基礎教養2）「数学の考え方」及び（基礎教養3）「現代数学の基礎」の非常勤講師への変更について

委員長から、全学教育推進機構が担当部局である基礎教養科目（基礎教養2）「数学の考え方」及び（基礎教養3）「現代数学の基礎」について、担当教授（全教）が本年度末に定年退職予定であり、後任者の定員補充がないことから、平成26年度以降の担当教員について非常勤講師への変更を諮りたい旨説明があった。引き続き、90%ルールによる10年後のポスト削減の達成、及び機構が処理できるポストの少なさを考慮すると、このポストに任期なしの数学教員を補充することは極めて困難であること、また同教授ポストの性質から、機構の専任の数学教員がその授業を引き継ぐことも困難であることの説明があり、審議の結果承認された。

2. 平成26年度開講授業科目等について（資料2）

委員長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、本資料を基に後日、各部長宛に授業担当教員選出の依頼を行う旨説明があった。

3. 教養教育科目(国際2を除く)・専門基礎教育科目(文系)の開講枠について(資料3)

委員長から、資料3に基づき、科目区分ごとの開講可能時間帯、ならびに科目の集中による講義室不足を緩和するため、平成26年度から基礎教養3の開講可能時間帯を追加したい旨説明があり、審議の結果承認された。

なお、開講曜日・時限の変更がある場合も、開講可能時間帯以外での開講及び配当は認められない旨説明があった。

4. 平成25年度授業担当非常勤講師の資格審査について(資料4)【回収資料】

委員長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、「世界の事情を英語で学ぶ」及び「世界の事情を英語で学ぶ 中級編」については、サンフランシスコ教育研究センターから推薦された者で、アメリカ合衆国では職業選択の自由に抵触するため雇用時の年齢確認は必要とされず、したがって本資料でも一部の非常勤講師は年齢が非公開となっている旨説明があった。

5. 平成25年度授業担当教員等の変更等について(資料5)

委員長から、資料5に基づき説明があり、審議の結果承認された。

6. 「特別外国語」の「国際教養2」への改編について(資料6)

委員長から、資料6に基づき各学部を実施した意向調査結果について説明があった。引き続き、各学部から出された意見等に対する検討状況や考え方について説明があり、各学部においては改編の趣旨を理解いただき、継続審議中の学部も卒業要件への算入を前向きに検討いただきたい旨発言があった。

審議の結果、「特別外国語」の「国際教養2」への改編が承認された。おって、各学部長に卒業要件単位としての配当について照会を行い、次回(11月)の本委員会で結果を報告する旨説明があった。

● その他配付資料

カリキュラム委員会(第2回)議事要旨(資料1)

次回開催：平成25年 11月15日(金) 15:00～(予定)